

一般社団法人 奈良県作業療法士会  
平成25年度第10回理事会議事録

- 1 開催日時 平成26年2月24日(火) 午後7時から午後9時
- 2 会 場 青丹学園 関西学研医療福祉学院 4階 4-2教室
- 3 理事現在数及び定数並びに出席理事数及びその氏名  
理事現在数 12名 定足数 7名  
出席理事数 9名  
出席した理事の氏名 大松慶子・東條秀則・西井正樹・大西和弘・前岡伸吾・安井敦史  
木納潤一・土井一輝・毛利陽介
- 4 監事現在数及び出席監事氏名  
監事現在数 2名  
出席した監事の氏名 内川誠・中上裕隆
- 5 議長の氏名  
大松慶子
- 7 議 題

【審議事項】

- 1 H25年度ホームページ運営維持費の追加予算について
- 2 教育部における現金過不足について
- 3 H25年度事業部予算超過分について
- 4 H26年度予算案について

【検討事項】

- 1 正会員規程、休会規程、賛助会員規程、その他規程について
- 2 まほろばの広告挿入について

【報告事項】

- 1 法人化記念誌について
  - 2 都道府県作業療法士会連絡協議会役員会について
  - 3 認知症初期集中支援について
  - 4 災害支援対策事業について
  - 5 第55回全国研修会 進捗状況について
  - 6 生活行為向上マネジメントについて
  - 7 他職種連携事業について
  - 8 事業部活動報告について
  - 9 25年度3士会合同訪問リハ実務者研修会報告について
  - 10 第7回奈良学会準備の進捗状況と今後の予定
  - 11 会員数について
- 8 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認など

冒頭で議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果など

審議事項1 H25年度ホームページ運営維持費の追加予算について

毛利理事から「ホームページ運営維持費」について予算41,000円を計上していたが、

1 2月末時点で 50,280 円となっており、3月までの経費を考慮し、20,000 円の追加予算が必要であると説明があった。理由として、一般社団法人となり、ホームページを旧団体と 2 つ並行運用していたことが上げられた。

審議の結果、20,000 円の追加予算が認められ、事務局費からの補填となった。

#### 審議事項 2 教育部における現金過不足について

木納理事から 11 月の月次決算において、現金過不足(雑損失 1,102 円)が発生し、要因として 11 月 29 日開催の研修会謝金の源泉徴収分を徴収していなかったことが挙げられた。

また、今後この様なことが無い様、金銭管理のマニュアルを作成するとの報告がなされた。

以上の内容について、報告書として記載し保存する。

審議の結果、1,102 円分は雑損失として計上することとなった。

#### 審議事項 3 H25 年度事業部予算超過分について

大西理事から H25 年度事業部予算、551,000 円に対し経費 748,054 円となり予算を超過したことについて説明があった。理由として、著名な講師にセミナーを依頼したことや、啓発委員 T シャツの経費などが挙げられた。

審議の結果、了承され事務局費から補填されることとなった。

#### 審議事項 4 H26 年度予算について

毛利理事から H26 年度予算について理事会費の予算 182,000 円から 187,000 円への増額の提示があった。

審議の結果、了承された。

毛利理事から、予算項目について「ホームページ運営維持費」「ホームページ追加・更新費」は事務局費として含めることを提示された。

審議の結果、了承された。

その他の項目については、次回理事会で再度審議することとなった。

#### 検討事項 1 正会員規程、休会規程、賛助会員規程、その他規程について

理事会議案であったが、提議者である松本副会長の欠席の為、次回理事会への持ち越しとなった。

#### 検討事項 2 まほろばの広告挿入について

西井理事から「まほろば」へ広告紙の挿入について、広告料を徴収して対応する提案があった。

広告料の設定について、次回理事会で再度検討することとなった。

#### 報告事項 1 法人化記念誌について

大松会長から法人化記念誌についての進捗状況について報告があった。

原稿の校正をしており、発送は総会後を予定となっているとのこと。

#### 報告事項 2 都道府県作業療法士会連絡協議会役員会について

東條副会長から都道府県作業療法士会連絡協議会役員会について説明があった。

選挙制度を含め、連絡協会のあり方を検討している。

次回、4月19日開催される。

#### 報告事項 3 認知症初期集中支援について

東條副会長から認知症初期集中支援について報告があった。

①「認知症初期集中支援チームならびに地域ケア会議に参画するための研修会」2月15日・16日に参加した。

出席者は行政からの問い合わせに協力できる人材として登録協力要請されている。

近畿の各士会に1名ずつ枠を設けてもらい、滋賀・京都・兵庫・奈良出席。

和泉市の動向：

モデル事業ではないが初期に OT・CM・Ns で訪問、OT が評価・プログラミング、Ns が実施、

3ヵ月後に再評価の事例が報告。一つの理想形と思われた。

②OT協会主催「認知症初期集中支援チームに対応する作業療法士のための研修会」3月9日（日）新大阪  
受講者は各士会にOTに期待されていること、どのように備えるかの伝達を依頼している。

参加者20名（非県士会員2名含まず）北和1名・1老健、中和14名（4病院・2老健・1通所リハ）、  
南和5名（1病院・1老健）

③奈良県認知症初期集中支援チームモデル事業

H26年立候補予定。

報告事項4 災害支援対策事業について

東條副会長から災害支援対策事業についての報告があった。

①「第4回災害リハビリテーションコーディネーター研修会」参加予定 3月1日（土）・2日（日）東京  
OT協会にて交通費・宿泊費負担

②第34回近畿作業療法学会（滋賀）10月5日（日）

近畿の連携事業として、10分スライド報告、パネルも設置予定。

報告事項5 第55回全国研修会 進捗状況について

西井事務局長から第55回全国研修会 進捗状況についての説明があった。

日時：平成26年12月6日・7日

・場所：奈良県文化会館

・講師選定：大西先生より協会に依頼。（市民公開講座は名越先生、三木先生・士会講座は斎藤先生）

・抄録印刷：現在問い合わせ中

・レセプション：利き酒・鏡割り・餅つき・せんとくんなどを予定企画。

1人5000円の会費で行う。立食形式（西井先生より奈良県ビジターズビューローに依頼）

・協会担当者打ち合わせ、4月5日午後予定。

・HP作成

報告事項6 生活行為向上マネジメントについて

西井事務局長から生活行為向上マネジメントについて協会より今回の研究事業についての説明とお詫び  
についての文章が届いたこととその内容について報告があった。

報告事項7 他職種連携事業について

毛利理事から他職種連携事業についての報告があった。

郡山地域での他職種連携会議を実施しており、次回5月16日には毛利からOT・訪問リハについて  
プレゼンテーションを実施する。

報告事項8 事業部活動報告について

大西理事から事業部活動報告についての紙面での報告があった。

無料セミナー

H26年1月30日 坪内先生 認知症に対する作業療法実践 32名参加

H26年2月6日 松本先生 精神障害者の退院支援 26名参加

難病支援関連

難病関連セミナー 平成26年2月15日 参加者33名 関西学研医療福祉学院

平成26年2月16日 参加者33名 関西学研医療福祉学院

報告事項9 25年度3士会合同訪問リハ実務者研修会報告について

安井理事から25年度3士会合同訪問リハ実務者研修会報告について報告があった。

平成25年12月15日（日） 会場 畿央大学 P T25名 O T15名 S T6名参加

平成26年1月26日（日） 会場 社会福祉総合センター P T22名 O T13名 S T6名参加

OT士会負担金 13,804 円

報告事項10 第7回奈良学会準備の進捗状況と今後の予定

安井理事から第7回奈良学会準備の進捗状況と今後の予定について報告があった。

抄録についてはほぼ完成している。4月に発送予定

報告事項11 会員数について

毛利理事から正会員数 315名 賛助会員数 4社との報告があった。

以上をもって議案の審議などを終了したので午後9時に議長は閉会を宣し、解散した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事及び監事は記名押印する。

平成26年2月 日

大松会長	東條副会長	松本副会長	西井理事	大西理事	前岡理事	木納理事	安井理事
土井理事	北別府理事	金星理事	毛利理事	内川監事	中上監事		